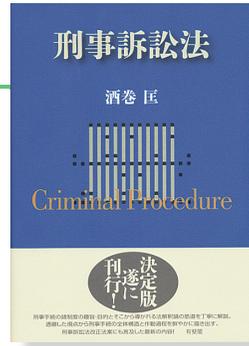


刑事訴訟法

酒巻 匡

2015年11月発売／680頁／本体4000円＋税
A5判／上製



編集
担当者
から

本誌355号～394号に連載された「刑事手続法を学ぶ」に大幅な加筆補正を行って単行本化。連載中からとても好評をいただいております。終了後は「書籍化の予定はありますか?」といった読者のお声を多く頂戴しました。お待たせしておりましたが、記述をじっくり見直し、また書き下ろしも加え、満を持しての刊行です。

本書は、刑事手続を形作っている様々な制度の制度趣旨およびそこから導きだされる法解釈の筋道を解説しています。やや頁数が多いと感じる方もいるかもしれませんが、制度一つ一つを丁寧に解説した結果ですので、実際に読み進めていただければ、「本の厚さ」を感じることは少ないはず。また、解説相互のリファーも充実させていますので、各制度の個別的な理解だけでなく、制度間の関係など、刑事手続全体の理解も深まります。

連載を読んだことがない方はもちろん、連載を読んだことがある方や現在連載を使って勉強している方も是非手に取っていただきたい1冊です。(F)

Index



刑訴法学習の決定版!

序 刑事手続の目的と基本設計図

第1編 捜査手続

第1章 総説／第2章 捜査の端緒／
第3章 被疑者の身体拘束／第4章 供述証拠の収集・保全／第5章 捜索・押収／第6章 検証・鑑定／第7章 その他の捜査手段／第8章 捜査の終結／第9章 被疑者の権利

第2編 公訴

第1章 公訴権の運用とその規制／
第2章 公訴提起の要件と手続／
第3章 審理・判決の対象

第3編 公判手続

第1章 総説／第2章 公判手続の関与者／

第3章 公判の準備／第4章 公判期日の手続／第5章 特別の手続／
第6章 裁判員の参加する公判手続

第4編 証拠法

第1章 証拠法・総説／第2章 証拠能力・総説／第3章 違法収集証拠排除法則／第4章 被告人の供述／第5章 被告人以外の者の供述

第5編 裁判

第1章 裁判の意義と種類／第2章 実体裁判／第3章 形式裁判／第4章 裁判の確定とその効力

第6編 上訴

第7編 非常救済手続